

# 自己評価結果公表シート (令和6年度)

学校法人 明和学園 明和幼稚園

## 1. 本園の教育目標

明るく、正しく、和やかな人間形成を目指し、自立の精神を以て何事にも丁寧に経験していくことを方針としている。楽しいこと、悲しいこと、しんどい事。それらの一つひとつを「ていねいに、ていねいに」経験を積み重ね、一人ひとりの個性を大切に、いきいきとした子どもを育む。

満3歳児…少人数のクラスで、1人ひとりの子どもの発見や気づきを共感し、豊かな経験を積み重ねる。

年少組…4人の担任で、子ども達が安心して集団生活をいつもニコニコ笑顔で過ごせるように、子ども達それぞれの個性や感性を大切に育む。

年中組…自分と相手（友達）の存在を大切に、皆と力を合わせることで、満足感や充実感を得ていく。

年長組…自分で考え、活動を見出す年長組。様々な経験を通して自立を促す。

周りへの思いやりや理解を育む。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標。

- ・子どもの心身の健やかな成長の為に、前年度の反省を生かしながら指導計画を見直し改善していく。
- ・建学の精神を大切にしながら、変化の大きい現代に必要なものは何か。何を大切に保育に取り組むかを考え、実践する。
- ・特色教育である自然に触れることや絵本など、さらに深めるように努める。
- ・運動あそびや知育あそびの研究。サーキットなどの運動あそび、リズム遊びやダンス等体幹を鍛えられるような保育に取り組む。
- ・リトミックを積極的に行い、様々な音に触れて過ごす。
- ・リトミックスタッフ会議を活用し、普段の保育にも取り入れられるリトミックを担任の先生と共有する。
- ・草花を育てるだけではなく、制作活動や草花あそび等に深める。
- ・身边にある物（野菜や果物などの雑貨）や自然物（園外保育で拾ったもの）など日常に近いものを使ったあそびを楽しむ。
- ・ごっこ遊びやなりきり遊びを子ども達が主体となり取り組めるよう仕組みを作る。
- ・小学校との関わり、小学校に向けて取り組みを行い、意欲を高める。
- ・子ども達の発達や様子に合わせ対応する。ワクワクするような体験を子どもと一緒に取り組む。
- ・子ども達がのびのびと自分を出せる場所、安心して過ごす環境を作る。

- ・子どももと同じ目線で物事を見る。子ども達が主体となり、自ら考え、取り組み、発展するような環境を整える。
- ・支援の必要な子ども達への関わり方、フォローモード体制を考える。
- ・従来のやり方に囚われることなく、柔軟な発想を持ち常にチャレンジする。
- ・絵本に触れる機会をさらに増やし、楽しみながら、活字に興味を持ってもらえるよう保育計画を考える。
- ・未就園児クラス教員、フリー教員と在園児クラスへの協力要請、連携の取り方の改善。
- ・担任一人で抱え込むことなく、周りへの相談・協力を仰ぐ環境を作る。
- ・俯瞰的に園全体を観察し、効率的に他学年の仕事・全体の仕事が円滑に進められるように過ごす。学年や担当の違いによる業務負担の差を減らす。
- ・教育方針や特色教育を《れんらくアプリ》《おうちえん》《ホームページ》などで、わかりやすく伝えしていく。新たに《Instagram》も活用し、広く幼稚園の様子を知ってもらえるように努める。
- ・園児1人ひとりの行動に目を配り、日々の保育の様子を保護者に丁寧に伝えていくよう、保護者とのコミュニケーションを大切にする。
- ・父母の会が為わせ制度となり、親子学級と共に、全て園での管理になる。親子学級を活用し、保護者とのコミュニケーションの機会を増やす。為わせ制度は初めての取り組みとなるが、時代にニーズに合わせながら、子どものために何ができるのか？を教職員、保護者と共に考える。
- ・定期的な避難訓練を今後も継続実施し、更なる防災意識の向上を図る。また園内の遊具や防災用品の点検、補充など安全対策を図る。防犯対策の方策を講じる。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の指導案の見直しや話し合いによって、子どもの発達や季節に応じた年間計画、月案、週案を作成・確認し、保育に取り組んでいる。</li> <li>・満3歳児→今年度のテーマ『体幹遊び』身体的な効果はもちろんのこと、継続的に行うことで、子ども達が何度も何度も挑戦する力、少しずつできるようになる達成感を感じ、子ども達が楽しい遊びの中で「できた！！」の声がたくさん聞くことができたことが嬉しい成果だった。</li> <li>・年少組→今年度のテーマ 赤組『四季の花について知ろう！』黄組『絵本を読んで自分なりに表現してみよう』</li> <li>赤組 幼稚園に咲いていないけれど、四季を感じる花はまだたくさんあります。園外保育などで、実際の花を見て、触れたり、匂いを感じたり・・・観察し、その後製作に取り組むことで、素敵なお花を作った達成感を味わうことができた。</li> <li>黄組 毎月1冊の絵本を選び、数回読んだ後にその絵本をテーマに製作を行った。3月にこれまで読んだ絵本を読むと「これ知ってる！！」という声が聞こえ、記憶に残る保育が出来たと実感した。これからも、様々な絵本に出会い、お友達と共に感したり、想像力や表現力を広げて欲しい。</li> <li>・保育の合間にクラスでゲーム遊びを行い、楽しむことが出来た。</li> <li>・指人形を使い、注目を集めるなどの工夫を行うことで信頼関係に繋がった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年中組→今年度のテーマ『挑戦』絵の具遊びではプールに敷いた大きな紙にダイナミックに表現する楽しさを味わい、1回目は赤・青・黄の三原色、2回目は白や小麦粉絵の具も増やす。など変化を付け、筆・スポンジ・身体で描く感触の違いを感じる事ができた。音楽遊びでは、リトミックや楽器遊びから、わらべうたなど様々な音楽に触れ、リズム感、表現力や協調性が育まれ、成長した姿を見る事ができた。伝承遊びでのかるたでは、ひらがなを遊びの中で覚え、コマ回しやけん玉では、コツコツと練習に取り組む様子があった。</li> <li>・音楽遊びを1年を通して行い、その遊びを行事につなげることが出来た。どのようにすれば子どもが興味を持つか。を工夫して行うことが出来た。</li> <li>・年長組→今年度のテーマ『おしごと』。1年を通して、色々な職業があることを知ることができた。幼稚園に関わる人たちへの職業インタビューを行い、私たちの生活を支えてくれているたくさんの仕事があることに気づくことができた。昨年度の栄養素の取り組みから、引き続いて、栄養士の職業インタビューも行い、違う角度から、より深く栄養への関心が持てた。この1年の取り組みが、色々な職業へ興味関心が広がり、将来の夢を叶えるきっかけになれば嬉しい。</li> <li>・子どもの興味関心、今やりたい気持ちを逃さないよう、保育の内容変更、環境整備をすぐ実行に移した。</li> <li>・就学前の子ども達がスムーズに就学できるよう、小学校との連携を行った。</li> <li>・未就園児クラス→テーマ『身体の部位を知る』どのように取り組めば、2歳児が楽しみながら覚えることができるのか?試行錯誤しながら行った。発表会で、身体の部位を示しながら答える子ども達の姿に、理解し楽しみながら覚えてくれている様子を嬉しく思った。</li> <li>・支援が必要な子どもに対し、どのように声を掛け対応すれば、保育に参加できるか?楽しむ事ができるのかを考え、実行した。 すぐに諦めてしまう子どもを応援し、どのようにすればできるかを伝え、実践することで、出来るようになり、自信を持てるようになった。</li> <li>・リズムレッスンでは、子ども達の視点に立ち、朝の自由時間などのリラックスできる時間に一緒にピアニカに親しむなど、活動を楽しいと思ってもらえるよう努めた。 クラスでピアノを弾き、生の音を身体で感じてもらう事に努めた。12月頃に運動会の曲を弾き、共にダンスを楽しんだり、マリオごっこをしたり、音楽は楽しいと感じてもらえた嬉しい。</li> <li>・季節感を感じられるような取り組みを行うために、園内の展示を行った。松ぼっくりや色水あそび、けん玉やコマなどを展示し、本物に触れる経験となり、発見やチャレンジ、興味関心の深まり等、子ども達にプラスになる環境を築けた。 コロナ以降休止していた、誕生会後のお楽しみ会を行うことができた。</li> <li>・自由時間に絵本の部屋の開放やホールの開放を行い、楽しみながら、文字に親しんだり、体幹を鍛えられるようなプログラムを考え実践した。</li> </ul>
職員の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の時間外労働が1年を通してなくなり、仕事を効率的に行い、時間を有効に使う意識を持つことが出来た。</li> <li>・常勤、非常勤ともに、有給を積極的に取得できるように奨めた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Google ドキュメントやタイムツリーなどの活用が定着し、データ管理への移行を進めることができている。</li> <li>・担任教員が1人で抱えこむ事のないように、学年ごとに補助をする教員の配置を決めた。それにより、担任も補助教員も声を掛けると良い相手が明確になり、週初めに声を掛けるなど、それぞれで連携を行い易くなった。</li> <li>在園クラスの補助が増えることで、様々な教員の保育、子どもへの対応を見る機会が増え、参考にすることもたくさんあり、自らの学びになった。</li> <li>・子ども達との些細な言動もクラスの担任に伝える事で今までよりコミュニケーションを図る事が出来た。</li> </ul>
家庭との連携強化とニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より父母の会が、為合わせ制度に変わり保護者に無理のない形で、幼稚園に携わっていただくようになった。保護者の皆さまには、様々な家庭事情の中でもそれぞれに、幼稚園への協力をいただき、おかげで円滑な幼稚園教育が進められた事に感謝しています。</li> <li>・未就園児対象に、にこにこ広場や園庭開放を行い、親子で気軽に参加してもらえるよう努めた。</li> <li>・これまで保護者主体であった親子学級を幼稚園で行うものとなり、色々な体験や講演で多くの保護者を募り、たくさんの参加があった。保護者同士、保護者と職員など様々なコミュニケーションも図ることができ、充実した1年となった。</li> <li>・朝、帰りの際には、保護者に積極的に声をかけ、安心して子どもを預けられるよう努めた。個人懇談会では、保護者から園児の家庭での様子を聞き、園でのエピソードを通じて、保育方針の説明や協力をお願いした。</li> </ul>
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を定期的に行い、警察や消防に助言をいただいている。</li> <li>・学校安全計画、保健計画を定め、行っている。</li> <li>・登降園時には、必ず職員が通用門と駐輪場に立ち、園児、保護者の安全に気を配っている。</li> <li>・防犯カメラや ALSOK との連携、県警ホットラインで園児の安全を確保しているほか、日頃から園内の安全点検をして、園児が怪我をしないように（危険の排除、怪我をした際の記録・原因究明・再発防止策）を講じている。</li> <li>・バス《置き去りキャッチ》は併用式で、降車時に居残りを巡回点検し、更にセンサーで見落としをチェックしている。《たすけてボタン》は引き続き使用し、中に取り残された際に、園内の職員に園児自ら知らせることができる。</li> <li>・園児・保護者・教員の心のケアのため、キンダーカウンセラーに定期的に来ていただき、助言をいただいている。キンダーカウンセラーには、保護者向けに講演を行っていただいた。</li> <li>・アレルギー委員会を定期的に行い、安全で確実な給食提供をした。</li> <li>・防犯対策のため、門扉・塀の高さを上げる改修工事を行った。</li> <li>・定期的に遊具など、園内の安全点検を行い、ドキュメントで管理。職員の共通理解をすることで、重複や抜け漏れを防ぎ、急を要する事案以外は長期休暇などに修繕を行った。</li> </ul>

#### 4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建学の精神、ビジョンを実現させるために、今必要なものは何か。何を大切にするのかを改めて考える。</li> <li>・建学の精神を大切にしながら、変化の大きい現代に必要なものは何か。何を大切に保育に取り組むかを考え、実践する。</li> <li>・指導計画を常に見直し、どのような時にも子どもが中心、子どもファーストであり続ける。</li> <li>・外部の研修などにも多く参加し、様々な方法を取り入れながら、子ども達にとつて、より良い教育となるよう、自信を持って保育を行う。</li> <li>・音楽あそびを積極的に行い、様々な音に触れて過ごす。</li> <li>・本物に触れる経験、機会を多く取り入れる。</li> <li>・自然体験を大切にする。</li> <li>・絵の具遊びを今後も取り組む。</li> <li>・主体性のある保育を考え、実践する。</li> <li>・自由遊びの時間の遊びの展開を援助する。子ども達が主体的に考え、遊びが広がる環境を作る。</li> <li>・クラスの子どもだけではなく、全園児との関わり、外遊びの際や違うクラスに遊びに行くなどの関わりを持つ。</li> <li>・小学校との関わり、小学校に向けて取り組みを行い、意欲を高める。</li> <li>・前年度に引き続き、ワクワクするような体験を子どもと一緒に取り組む。</li> <li>・例年通りではなく、子ども達の発達や様子に合わせ対応する。</li> <li>・子ども達がのびのびと自分を出せる場所、安心して過ごす環境を作る。気持ちに寄り添いながら信頼関係を築いていきたい。</li> <li>・子どもと同じ目線で物事を見て活動や保育を行う。</li> <li>・支援の必要な子ども達への関わり方、フォローワーク体制を考える。</li> <li>・保育研究を行う。</li> </ul>
職員の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「和顔愛語」をいつも心に留めて過ごす。</li> <li>・L I N E や Google ドキュメントで共有することで、職員全員の共通理解を引き継ぎ効率的に行う。</li> <li>・業務改善を引き継ぎ行う。</li> <li>・学年や担当の違いによる業務負担の差が大きい。自身の仕事だけではなく、俯瞰的に物事を観察し、効率的に園全体の仕事が円滑に進められるように配慮し過ごす。</li> </ul>
家庭との連携強化とニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児1人ひとりの行動に目を配り、日々の保育の様子を保護者に丁寧に伝えていくよう、保護者とのコミュニケーションを深める。</li> <li>・教育方針、園の様子を《れんらくアプリ》《おうちえん》《ホームページ》《Instagram》でわかりやすく伝えていく。ホームページの見直しを行う。</li> <li>・子どもの心身の健やかな成長の為に、為合わせ制度を継続させる。</li> </ul> <p>前年度の反省を生かしながら、見直し改善を行う。</p>

	<p>保護者のニーズや満足度を把握し、保育や行事の内容を考える際の検討材料にしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子学級では、保護者同士や保護者と職員とのコミュニケーションを図り、子ども達だけではなく、園生活を保護者に楽しんでもらえるようなプログラムを考える。</li> </ul>
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な避難訓練を今後も継続実施し、更なる防災意識の向上を図るとともに研修を行い、防災用品の点検、補充など、安全対策を図っていく。</li> <li>・子ども達の主体性を育む、自立に向けた保育環境を作るために、声掛けの仕方や教員の配置を話し合い、心の成長に目を向ける。</li> <li>・キンダーカウンセラーの相談を継続し、園児の様子を見ていただく。同時に園児との関わり方について、教員に助言をいただきより良い保育を目指す。</li> <li>・キンダーカウンセラーに保護者の悩みを気軽に相談できる環境を作る。</li> <li>・定期的なアレルギー委員会を行い、安全に給食提供をする。</li> </ul>

## 5. 財務状況

- |                                 |
|---------------------------------|
| ・公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。 |
|---------------------------------|